

## Twitterでの#合理的思考の技術タグの濫用の要因について

KaniKe

まず、SNS自体の主なインセンティブは”楽しさ”であると思います。

Twitterで所謂アルファツイッターと呼ばれるような何万人ものフォロワーを持ち、Twitterで絶大な影響力を持つような人々が、自分からのフォロワーに一定の制限を設け、フォロワーに対してRT(リツイート)、Fav(ファボ、お気に入り)を自分のツイートについてするように請求するのも、一定の快楽があると(支配など)考えられますし、異論はありますし、私が全面的に以下の説を支持する訳ではありませんが多くの人がTwitterを常習的に使用するのは連絡手段として以上に自分を他人に対して開示する快楽を求めているからではないでしょうか。

また、Twitterが流行っている理由にコスト論を用いるのであれば、通常交換日記や、よりリスクの高い手段を使用しなければ得られない快楽をきわめて低コストで得る事が出来る為だと思われます。

ここでは、それを前提になぜ、合理的思考の技術タグが濫用され、休講情報が流れるのかについて考えていきたいと思います。

まず、合理的思考の技術タグ(以下特記なければGタグ)が濫用されるのは端的に言ってこのタグがTwitter上で広がっている為です。

第一の要因としてはTwitterではトレンドを調べる事が出来ます。(c.f.<http://tr.twipple.jp/hotword/>)これによってTwitterをやっている人は今流行っているタグを調べ、その流れに乗る事が出来ます。

例えば、以下のような流れで濫用が発生します。

たけしくんがTwitterのトレンドを調べGタグという謎のタグを見つけたとします。たけしくんは東工大生ではないので当然一体何のタグだか分かりません。するとたけしくんは例えば、こうつぶやきます。

“#合理的な思考の技術 #とは”

すると、このツイートに付加されたGタグによってGタグはトレンドのより上位になり、より多くの人がこのタグの使用を行います。

どうでもいいツイートの大半はこれに当てはまると考えられます。

次に第二の要因です。これは最も大きいと考えられる濫用の方向で、単に場を混乱させる事を楽しむ為です。

よく知られているように我々は脳科学的にも”他人の不幸は蜜の味”である、と言う事が言われています。場を混乱させ、人々が惑うのを楽しむ、と言う訳です。勿論褒められた事ではありませんが、快楽、という面において大変に軽コストかつ高リワードであると言えると思います。

手間に見合うだけのベネフィットがあるのか、と言う疑問についてはおそらく教授が考える以上にコストが軽い、乃至は普段から同様の行動を日常的にとっている為に相対的にコストが軽いと言うのが要因ではないかと思います。正直な所、画像を一個つけるのであれば大抵の場合、流用(盗用とも言えますがSNSは極めて緩やかで、自分が作成した物だと主張しない限り問題がない場合が多いように感ぜられます)であるため、カップ麺を一個作る方が

手間です。

では次に、休講情報が流れる理由についてですが、根源的には他人の混乱しそうな情報を拾ってそれを自分からも拡散する事によってより混乱を広めようと言う事が理由です。楽しいのか、と言われれば疑問ですが、私自身は楽しい、と言う事は理解できます。これはお祭りに参加して一緒に騒ぐのが楽しい、と言うのとなに方向性である、と考えられます。

さて、休講情報にはGタグの他にほぼ#高度な情報戦（以下Kタグ）というタグが付随しているように思います。このKタグが実害を周囲に与えない為の防壁になっています。前述に場を乱す事による快楽を得る為に行う、と記述しましたが、そのような事をし続けると当然信用を失い多大な損失を生む結果となります。それを防止し、かつ快楽を回収する為に編み出された手法がこのKタグです。これによって、嘘、誤った情報である事をミームレベルで共有（ミームと言えるレベルか否かについては疑問は残りますが、少なくとも私の周囲では膾炙されているように感じます）し、信用の喪失を防止しつつも擬似的に場を乱し、快楽を得る事を可能にしており、より、濫用が容易になると考えられます。

まとめますと、SNSは旧来の形態に於いては大きなコストがかかるような煽動、自己開示を始めとした快楽を得る事が極めて低コスト可能な為に広がり、それ故にタグの濫用や誤情報の流通が発生する、と言う事だと考えられます。